

サウンドアドバイスの21

メス 2021年3月5日生 | 鹿毛 | 美浦・伊坂重信厩舎 | タイハイ牧場生産



一口価格：19,800円 ※2023年保険料 634円 募集口数：500口【競走馬出資金総額 990万円】



POINT

父アメリカンペイトリオットは初年度産駒から重賞勝ち馬を輩出し、牡馬クラシック戦線に産駒を送り込みましたが、父譲りのパワフルな馬体と豊富なスピードを武器に芝ダートを問わず活躍を見せています。本馬も一目で父の産駒と分かる筋肉質な馬体を有しており、マイル前後でスピードを生かした走りを見せてくれることでしょう。万能型の父と配合された母はJRAで芝1勝、ダート2勝をあげており、この血統背景からは芝ダート問わない活躍を期待したい所ですが、まずは両親から受け継いだスピードを武器に桜の舞台での活躍を期待します。

治郎丸敬之の馬体診断

世界の各種牡馬ウォーフロントと言っても、日本の競馬ファンにはいまちピンと来ないかもしれませんが、日本競馬でいうところのサンデーサイレンス系と置き換えてもらうとウォーフロント系の凄さが分かるかもしれません。Omaha Beachもウォーフロントの直仔であり、世界中のあらゆる競馬場のあらゆる条件で活躍馬を輩出している万能型の父系ということです。中でもアメリカンペイトリオットは芝の短い距離を得意としました。マッチョな巨体を躍動させ、筋肉には柔らかみがある、誰が見ても典型的なスプリンター体型です。サウンドアドバイスの21は、前駆の力強さや腹構えの立派さは父アメリカンペイトリオット譲りですね。胸部が拳ひとつ分、詰まって映るように、距離が延びて良いタイプではなく、マイル以下のレースを得意とするはず。芝かダートかと問われたら、正直に言うと迷います。母サウンドアドバイスはダートで2勝した馬ですし、母父アグネスタキオン、母母父プライアンズタイムという血統構成からはダートこそが活躍の場ではないかと考えてしまうのです。馬体的には、短い距離であれば芝・ダートどちらでもと答えさせていただきます。